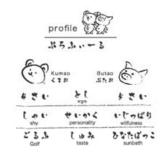


#### 尾張英之介(おわり・ひでのすけ)

未だ謎の多いユニット。"くまお"&"ぶたお"、両キ ャラクターのプロフィールから、人となりを想像 してください

Unit Mysterious Yet Kumao & Butao: imagine their true self through the profile of the both characters.





ovely bears and pigs drawn with L simple lines; you can't help but smile at the loosey-goosey world created by Hidenosuke Owari.

Illustration on T-shirts caught the eyes of a gallerist, which gave him an opportunity for an exhibition. Veiled profile was partially disclosed; it was not him, but a unit of 2 highly sensitive apparel designers in Nagoya.

"Kumao and Butao are the parody of common middle-aged male figures -Oyaji-, withered and struggling in the modern society, created to introduce Japanese -Wa- taste to foreigners". Indeed, English caption is added to humorous situations in the paintings. Having been so popular among Japanese, the characters are now printed on the various products. "Look like someone near you? That's about it. Adding the up-to-date trend to two characters, we would create works, not just cute, but with irony included."

The solo exhibition held in March will be their second and new art pieces will be shown successively at this exhibition. Most pieces are drawn effectively in red based on a single color or black, looking like "characters drawn in a black and white ink". Instead of limiting the images within a specific medium, the artists have chosen to exhibit paintings this time. Some paintings are pretty large with  $1.8 \times 1.2$ m. Not too absorbed but still comforting, the concept has remained unchanged and from these characters, it is possible to catch a glimpse of how the artists view their world.

# Hidenosuke Owari

## 尾張英之介

## 「テーマは一貫して、〈こんな人、身近にいませんか?〉ということなんです」

"Looks Like Someone Near You? That's About It"

インタビュー&文:産土音羽 (美術ライター) text by Otoha Ubusuna

ンプルなラインで描かれた、か シ わいらしいクマとブタ。この思 わずふっと目尻が下がってしまう、ゆ る~い世界を創り出しているのが作 家・尾張英之介だ。

ふとしたきっかけで、Tシャツのイ ラストがギャラリーの目にとまり、本 格的な画として展示することになった のだが、出身地が愛知県であること以 外には、年齢も経歴も不詳というミス テリアスな存在だった。しかし、この たびそのヴェールに包まれた素顔が、 ホンの一部だが明らかになった。なん と、名古屋でアパレルデザイナーとし て活躍する、高感度な男性二人組だっ たのだ!

「実は、"くまお"も"ぶたお"も〈おや じ〉なんですよ(笑)。もともと外国人 をターゲットに"和"のテイストを取り 入れた、ひとつの企画の中から生まれ たキャラクターなんです」

なるほど、ユーモラスなシチュエー ションには、どれも英訳が付いている。 彼らが、話題の映画やTVドラマから 衣裳協力のオファーも多数寄せられる、 人気ヤングカジュアルブランド (メン ズ) のデザインを手がけていると聞け ば、今度は妙に納得。

『ちゃぶ台がえし』など、Tシャツに 表現された画は、現代社会に生きる、 少々お疲れ気味の"おやじ"たちへの愛 情を込めた、パロディ仕立てだ。

そんな作家が発信する和風(?)の二 ュアンスは、日本人の間でも「おもし ろい! かわいい!」と口コミで拡がり、 同キャラクターのトートバッグや缶バ ッチが生まれるほどの人気者に。

「テーマは一貫して、〈こんな人、身近 にいませんか?〉ということなんです。 ふたつのキャラクターをベースに、そ

の時々の"旬"を盛り込んで表現してい ます。ただ単にかわいいというだけで はなくて、よく見てみるとちょっと毒 がある、というような作品を作ってい きたいですね」

3月に引き続き2回目となる今回の 個展には、待望の新作が続々と登場す る。単色や黒をベースに赤を効果的に 用いるなど、まるで"水墨画のキャラ クター版"とでもいうようなインパク トをもった作品が目立つ。イメージを 限定することなく作品世界に遊んでも らおうと画のみの展示だが、なかには 1.8×1.2mの巨大な作品も! 凝り すぎず居心地のいいアート、というコ ンセプトはそのままに、おなじみのキ ャラクターの背後から、世の中を見据 える作家自身の視線が見え隠れしてい

### Nonchalant Cozy-art 尾張英之介 新作展

〈ゆる~~い世界で癒されませんか?〉 Hidenosuke Owari (How about being healed in the loose world?)

7.25 (Fri.) ~ 8.21 (Thu.) Gallery K ▲ 店内改装のため臨時休業する場合があります

Temporarily closed for renovation **↑** 〒 106-0032

東京都港区六本木5-10-28 恵伊幸ビル1F 1F 5-10-28 Roppongi, Minato-ku, Tokyo 160-0033 ↑+81-(0) 3-3402-6861 @ www.gallery-k.net

